

新刊紹介

柳父章・水野的・長沼美香子編『日本の翻訳論 アンソロジーと解題』
(法政大学出版局、2010年)

桑山 佳子

本書は、主として日本における翻訳の問題を扱った明治以降のテキストのアンソロジーである。編者である水野的、柳父章らがこれらのテキストそれぞれに解題を付し、日本において翻訳がどのような位置を占めるものだと認識され、実際にどのような翻訳方法がとられていたのかを解説しながら、これまで体系的に考えられてこなかった翻訳をめぐる個々の言及を整理し、日本におけるトランスレーション・スタディーズ（翻訳研究）の確立に向けた指針づくりとでもいうべきものを示したものである。

本書の構成は二部にわかれている。第一部では、編者の一人である柳父章が漢字の受容から西洋語翻訳までの日本における翻訳の歴史を概観し、漢字及び西洋語の受容による日本語文体への影響を論じている。本書の大半を占める第二部は、先に述べた明治初頭から昭和初期までの三十一の日本の翻訳をめぐるテキストのアンソロジーとそれぞれの解題である。

編者の一人である水野的によると、本書の目的は「日本の翻訳論の全体像の輪郭を描く」ことである。水野によれば、「日本の翻訳論のアンソロジーはこれまでもなかったわけではないが、収録点数が少なかったり、現代に偏って」いるものであった。本書のアンソロジーに選出された各テキストで扱われるのは大半が文学の翻訳であるが、少数ながら字幕や語学の翻訳を扱ったものもあり、多角的にテキストの問題を扱おうと試みられている。また、言語面においても英語やロシア語、フランス語などからの日本語訳、俳句の英訳における問題が扱われており、多様な言語に関わる論を取り込もうと配慮されている。

このように、本書のアンソロジーは日本の翻訳に関わるこれまでのさまざまな言及と読者が一望できるようにと選出されている。それぞれのテキストに

付された解題はトランスレーション・スタディーズにおける主要な論点である「翻訳規範 (translation norms)」、「異化的翻訳 (foreignizing translation)」、「同化的翻訳 (domesticating translation)」の概念を用いて、各テキストが前提している翻訳規範の分析を行っており、このことが本書の大きな特徴のひとつであるといえる。翻訳規範とは、水野によると「翻訳とはどのようなものであるべきか」という考え方のことで、翻訳者はこうした規範をときには内面化し、ときには意識的に規範に従いながら翻訳を行う。規範は可変的なもので、翻訳が行われる時代や翻訳者個人によって異なり、一様なものではない。これらの分析において軸となっているのは「異化的翻訳」と「同化的翻訳」の概念である。この概念はオリジナルの言語と翻訳する言語のどちらの社会文化的背景に引き付けて翻訳を行うか、という翻訳のあり方を指し、前者をオリジナルの言語に比較的近づけて訳する、いわば直訳のような翻訳である。後者については翻訳する先の言語（本書のテキストではほとんど日本語）に引き付けて訳することを指している。この二つの概念を持ち込むことで、翻訳をその言語的側面のみに留まらないものとして捉えることが可能になる。例えば柳父章は"individual"や"right"のような従来なかった概念を言い表す際に「個人」「権利」といった漢字や漢文体を使った新たな表現が用いられることを指摘し、異化的翻訳が日本の翻訳の主流だと述べる。柳父によると、福澤諭吉『福澤全集諸言』の「全体君等が西洋の原書を翻訳するに四角張った文字ばかり用ふるは何の為めなるや」という一節から読み取ることのできる異化的翻訳への批判的見解は、日本において例外的なものである。『福澤全集緒言』には、明治初期という時代を背景とし、翻訳を通じて特定の階級だけでなく、より多くの読者

に外国の文献や知識を広めようとした福澤の翻訳に対する考えがみられるといえる。

本書の意義としては、個々に存在していた日本の翻訳に関わる様々な過去の言及を一冊にまとめたことが挙げられる。従来翻訳研究が対象としてきたのは文学に関わる言及が中心であったが、このアンソロジーには文学以外に関わるテキストが含まれており、翻訳研究の対象を拡大しようという編者らの試みは注目に値する。字幕翻訳に関わるものや、森鴎外『『即興詩人』時代と現時の翻譯』など、従来顧みられることの少なかったテキストをとりあげたことも評価すべき点である。また、規範に注目した解題と併せて読むことで、翻訳がオリジナルとその翻訳のみから成る孤立した空間で行われるのではなく、翻訳者と翻訳者を囲む社会文化的文脈において行われることを改めて確認することができる。これらの点で、本書は翻訳や翻訳研究に関心をもつ読者に有用なものとなるだろう。

(くわやま・けいこ 東京外国語大学博士前期課程)